

国際ロータリー第2570地区

行田ロータリークラブ

RI会長：グレン E. エステス シニア / ガバナー：橋田 弥寿男

会長：黒淵陽夫 / 幹事：島崎政敏

例会日：木曜日

午後12時30分開会

会場：アドバンテスト

行田クラブハウス

クラブ会報委員会

委員長：中島捷二 / 副委員長：境野登章

委員：岡田則之、島田修、反町清
大谷浩一、山本栄治

2004～05 国際ロータリーのテーマ
「ロータリーを祝おう」



CELEBRATE
ROTARY

100 Years

第1924回 100周年記念事業 (5月28日)

渡辺雄一と平野啓子の ピアノと朗読・語り ドラマティックコンサート



ピアノと朗読を楽しむ「つどい」、一みんな 本が大好きになり 読みたくなる—をテーマに、読書の楽しさ、面白さを知り、本が好きになるきっかけ作りと、読書の大切さを学んで子育てに活かしてもらうことを目的とした、「渡辺雄一と平野啓子のピアノと朗読・語りドラマティックコンサート」が、去る5月28日、みらい文化ホールで開催されました。

当日は500席が満席になるほどの盛況ぶりで、渡辺さんのピアノ演奏と、平野さんの語りのコラボレーションに多くの観客が酔いしれていました。

横田市長様をはじめ多くのご来賓の方々をお迎えし、島崎幹事の進行により午後1時30分開会となりました。



会長挨拶 黒瀧陽夫 会長



皆さんこんにちは！

本日は国際ロータリー100周年創立記念として「渡辺雄一と平野啓子のピアノと朗読・語り ドラマチックコンサート」を開催いたしましたところ、多数の方にお出で頂き大変有難うございます。また行田市長横田昭夫様、行田市教育長津田馨様をはじめとし、お忙しいなか大勢のご来賓の皆様にお出で頂き有難く重ねて御礼申し上げます。

さて平成13年に国も読書の重要性を認め、毎年4月23日を「子供読書の日」として決めました。今年、奇しくもその日に文部科学省の学力テストの結果が新聞で報道され、「考える力を試す問題が弱点である」との結果が出ました。

作文をしたり、自己表現をしたり、国語に限らず「答えを自分で書く」問題を苦手とする傾向が見られたそうです。この原因の根底には「読書離れ」があるのではないのでしょうか。読書は考える力をつけます。

紀伊国屋書店の会長兼CEOである松原治さんが日経新聞の「私の履歴書」の中で、「読むことは考えることであり知識は忘れたところに知恵となる」と仰っておりました。

現在の教育はあまりにもすぐに結果と答えを求め

すぎているのではないのでしょうか。子供のころから両親に枕元で聞かされた物語は、何故かいつまでも心の奥底に残ってたまにふと沸いてきます。また幼い頃読んだ本の内容は、いつまでも記憶に残っております。それは豊富な表現力、思考力につながるようになると思います。

最近のデジタル社会において多くの日本人が、正しい日本語を読めない、書けない、しゃべれないといわれております。

そのことを是正する意味で、本を読むということを経験とする生活を送れないものか、と考えるのは私たちだけではないと思います。

私たち行田ロータリークラブは長年「明治大学マンドリンクラブ演奏会」や「ふるさとを知る集い」などを通して、多感な世代の子供たちに少しでも心の成長をと願って奉仕活動を行ってまいりました。

そしてこの度の国際ロータリー創立100周年を記念し、昨年度、本年度と2カ年に亘ってお隣の市立図書館に児童書を約2000冊寄贈いたし、来年度も1000冊の寄贈を行うことになっております。

さらに、本を単に揃える事だけにとどまらず読書の大切さを知っていただく事を願って、昨年度作家の志茂田景樹さんをお願いし読み聞かせの公演と実演を行ないました。

本年も読書の楽しさをご理解意頂き、本物を聞き感動することが教育の原点であると考え本日の「渡辺雄一さん、平野啓子さんのピアノと朗読・語りドラマチックコンサート」を開催することになりました。

この機会に音楽の楽しさ、読書の楽しさを知っていただければと思います。

そして私たちの奉仕活動が少しでも地域社会の発展に寄与できれば幸いです。

それでは短い時間ですがコンサートを楽しんでいただければと思います。

簡単ですが主催者を代表してのご挨拶と致します。有難うございました。



つづいて横田市長様挨拶、渡辺記念事業実行委員長の出演者紹介につづき、いよいよ渡辺雄一さんのピアノ演奏が始まりました。



一部は、渡辺雄一さんのピアノ演奏が続きます。

最初の曲は「出逢い」という曲で、静かなとてもいい曲でした。

つづいて、NHKドラマ「盲導犬クイールの一生」より、遊ぶクイールなど3曲演奏、つづいて映画「いぬのえいが」テーマ曲より懐かしい浜辺ほか2曲演奏されました。



次にNHKの大河ドラマの語りでおなじみの平野啓子さんの登場です。

おしゃべりと朗読について また私と読書・朗読と語りについて解かりやすくお話していただきました。特に朗読と語りの違いなど、実際に実演していただきとてもよくわかりました。



二部では、原作 太宰治、朗読・語り 平野啓子さん
作曲・ピアノ演奏 渡辺雄一さんによるオリジナルの
ピアノ・語り・劇、平野・渡辺版「走れメロス」を
演奏されました。

渡辺さんのピアノ演奏と平野さんの体全体で表現
する「語り」がとてもよく調和しており、まるで実
際に舞台を観劇しているようなすばらしい演奏でした。



演奏終了後、渡辺・平野両氏による、この「走れメロス」を演奏するにいたったいきさつや本日までの舞台裏のお話を聞かせていただき、両氏が今日のこのコンサートのために大変なご準備をされたことがよくわかりました。

観客からも惜しみない拍手が沸いていました。

またいつの日かこの行田の地で、渡辺雄一さんと平野啓子さんのジョイントコンサートができることを期待しつつ閉会となりました。

終了後ホールロビーでは、ご両名のCDやビデオなどが販売され、ご本人のサイン会もおこなわれました。



午後5時30分、会場をアドバンクラブハウスに移し、本日ご出演のお二人を囲み、食事会となりました。

黒淵会長のお礼の挨拶から始まり、出演者のお二人に本日の感想等を語っていただきました。その後渡辺雄一さんが急遽ピアノ演奏してくれることになり、私たちは目の前でピアノ演奏に再び聞き入ってしまいました。

最後に渡辺実行委員長の挨拶で散会となりました。実行委員会の皆さんをはじめ多くの会員の皆さん、早くから丸一日大変お疲れ様でした。

